

カーボンニュートラル社会の実現に向けて 路線バス事業者へEVバス導入環境の整備支援



阪急バス株式会社で導入されたEVバス車両

近年、公共交通を取り巻く環境は利用者数の減少や燃料費の高騰など厳しい現状にあります。猪名川町では、持続可能な公共交通を目指して、猪名川町地域公共交通計画に基づき環境への配慮や先進技術を活用した新たな移動手段の創出に取り組んでいます。この度、導入を進めるEVバスは環境にやさしい新しい移動手段として注目されており、猪名川町内で路線バスを運行する阪急バス株式会社では、カーボンニュートラル(脱炭素社会)の実現、燃料費の高騰対策や運行経費の低減が期待できるEVバスの導入に向けてすでに一部路線での実証実験を開始しています。

今回、猪名川町では、阪急バス株式会社としては兵庫県内の運行路線において県下初となるEVバスの運行を支援できるよう、次の通り充電設備設置への補助制度を創設することになりました。

●補正予算額

8,500 千円

(財源は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)

●補助制度概要(案)

充電設備 補助率 1/2

設置工事費 補助率 10/10

※充電設備設置後1年を目途に、営業所へのEV車両配置及び町内を運行経路の一部とする営業路線でのEV車両の運行開始に努めて頂きます。



阪急バス株式会社千里営業所に設置されているEVバス充電設備

【問合せ】まちづくり部都市政策課 担当 和田 (Tel.072-766-8704)